

■児童の学力の状況

- 昨年度の全国学力学習状況調査の結果から、板橋区、東京都、全国に比べて、平均正答率が低く、  
( )  
基礎的・基本的学習内容の定着が十分ではない。
- 文章を読み取り、複数の情報を組み合わせながら読み解く力が弱い。
- 判断の根拠や理由を明確に示しながら自分の考えを相手に伝えることが苦手である。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題

- 学習規律の徹底。
- 児童に見通しをもたせた授業展開。
- 自力解決を適切に取り入れた指導の充実。
- 交流する場面を介さないでも高め合い、深い学びにつなげる指導の工夫。
- 自分の考えを分かりやすく表現する指導の充実。
- 読み解く力を育成するための指導の工夫。

■学校経営方針より(学力向上に関わる内容から)

- 読み解く力の育成  
読み解く力(文章や図表等から読み取ったことを基にして、分かったこと、考えたことを相手に伝える力)の育成について、教科書の内容理解の指導を中心に進めていく。
- 個別最適な学びと協働的な学びの実現  
児童一人一人の実態(特性や課題)に応じた学習活動を展開する。児童が自らの学習状況を把握し、主体的に学習を調整できるようにする。また、一人一台タブレット型PC等、ICT機器を活用した学習活動や、学校ならではの協働的な学習活動を展開する。
- 基礎的・基本的学習内容の確実な定着  
・朝学習及びレベルアップタイムの確実な実施 ・学期一度の漢字及び計算検定の実施

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点1	視点2	視点3
問題解決型・探究型の授業	協働学習の導入	指導と評価と支援の一体化
<ul style="list-style-type: none"> <li>○明確なアウトプット型のため提示し、学習の見通しをもたせる。</li> <li>○自力解決及び協働学習を行うための時間の確保する。</li> <li>○前時の学習の振り返り及び本時の振り返りの時間を確保する。</li> <li>○学習の流れを定着させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ペア学習やトリオ学習を全学年で意図的に取り入れる。</li> <li>○一人一人が自分の考えをもつ場面、他の人の考えを聞いたり活動を見たりしながら自分の考えと比較したり組み合わせたりして、よりよい考えを創り出す場面を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童一人一人に対応した支援計画を作成するとともに、児童の振り返りをもとに、指導計画の修正を行い、次時の指導に活かす。</li> </ul>

■いたばし学び支援プラン2021の実現に向けた取組

教員の指導力向上	ICT機器の活用	保護者・地域との連携・協働
<ul style="list-style-type: none"> <li>○読み解く力を伸ばすことを意識したプリントを作成し、学習に活用する。</li> <li>○全教員がタブレット型パソコン等のICT機器を活用した授業に取り組む。</li> <li>○一部教科担任制や2学年合同でのTT指導を効果的に指導するための工夫を行う。</li> <li>○校内OJT研修を充実させ、教員の授業力向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全学級で電子黒板を効果的に活用し、重要な部分を拡大して提示したり、生徒の考えの共有化を図ったりする。</li> <li>○一人一台タブレット型PCを活用し、話し合いの内容を共有したり、作品等を発表し合ったり、漢字や計算等の基礎的・基本的な学習内容の定着を図ったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一台タブレット型PCを活用し、習熟を踏まえた課題を出し、家庭学習との連携を図る。</li> <li>○学校の教育活動を公開し、開かれた学校づくりを推進する。</li> <li>○家庭学習についてのねらいを保護者に伝え、家庭学習の習慣の定着を図る。</li> <li>○学校支援や地域本部との連携を通して地域の教育力を生かした活動を推進する。</li> </ul>